



資 料

核兵器廃絶平和都市宣言20年の歩み

綾瀬市核兵器廃絶平和都市宣言20年の歩み

年	取り組み内容
昭和59(1984)年	12月19日に核兵器廃絶平和都市宣言をしました。
昭和60(1985)年	宣言パネルを各自治会館・地区センターなどに掲げました。 広報紙で「黙とう」の呼びかけを始めました。
昭和61(1986)年	宣言三角柱を市民文化センター前などに立てました。
昭和62(1987)年	アメリカ・ロシアなど核保有国にメッセージを送り始めました。
昭和63(1988)年	親子平和映画会を毎年夏に開催し始めました。
平成6(1994)年	都市宣言10周年記念平和講演会を開催しました。 「ピースバラ」を配り始めました。
平成7(1995)年	戦後50周年記念平和音楽祭を開催しました。 ピースバラ平和大使2名を5年間任命しました。
平成8(1996)年	「あやせローズコロン」を配り始めました。
平成10(1998)年	ピースバラを説明している「ピースバラ物語」を作りました。
平成12(2000)年	平和の響音楽祭@平和の文化国際年2000を開催しました。
平成15(2003)年	各地にピースバラ説明板を配り始めました。
平成16(2004)年	都市宣言20周年記念公演を開催しました。 「ピースバンドナ」を配り始めました。

核兵器廃絶平和都市宣言 宣言文・メッセージを国内外に発信しています。

宣言パネルは、昭和60年度から、中央公民館・体育館・各自治会館・各地区センターなど25か所に設置しました。宣言三角柱は、昭和61年度から、文化センター・スポーツセンター・市役所・北の台地区センター・吉岡地区センター・綾南地区センターの6か所に設置しました。

昭和62年度から、核保有国在日大使（現在は、アメリカ・イギリス・フランス・ロシア・中国・インド・パキスタンの7か国）に対して宣言文・メッセージを送付しています。



宣言三角柱（文化センター前）

親子平和映画会 ご家庭で語り合う機会づくりとして、昭和63年度から開催しています。

（上映映画）核戦争後の地球・なっちゃんの赤いてぶくる・さようならカバくん・おこりじぞう・100ばんめのサル・おかあちゃんごめんね・ひろしまのエレキ・ながさきの子うま・ディズニーアニメ・ひとつの花・まっ黒なおべんとう・ぞう列車がやってきた・スノーマン・リトルツインズ・ヒロシマに一番列車が走った・グスコープドリの伝記・チョコちゃん物語・みつばちマーヤの冒険・アルプスの少女ハイジ・しんちゃんのさんりんしゃ・風の谷のナウシカ・みいちゃんのでのひら・ベイブ・つるにのって・エルマーの冒険・赤毛のアン・おばけ煙突のうた・ルパン3世カリオストロの城・傾空の大冒険・長くつ下のピッピ・ピッピ南の島へ・メイプルタウン物語・象のいない動物園・ファインディングニモ・アイスエイジ

あやせピースバラ物語 平成7年から取材し平成10年度に作成し、ホームページに掲載中です。ピースバラの起源、名前の由来などを増田元一郎さんがまとめた「フランスから綾瀬までの旅」です。

ピースバンダナ 平和の花「ピースバラ」をモチーフとしたオリジナルデザインのバンダナ。平和事業・視察・他市町村訪問などで配付し、平和の願いを広く伝えます。

平和の花「ピースバラ」 平和の花「ピースバラ」とは、「ピース（平和）」という種類のフランスでつくられたバラのことです。

第二次世界大戦の終わりを記念して名前が付けられ、「愛と平和のしるし」として世界の人々に愛されています。綾瀬市は、「市の花」がバラであることから、平和への願いをこめて、全国のいろいろな所にピースバラをおくっています。黄色にピンクの縁取りがある優雅な花です。

市内では、文化会館玄関前、市役所バスロータリー内、光綾公園バラ公園、城山公園花木園などで、春秋に咲いています。



ピースバラ（文化会館玄関前）

ピースバラ市外植樹場所

- 広島県広島市立大学中庭
- 長崎県長崎市グラバー園内
- 長野県長野市八幡原史跡公園
- 兵庫県神戸市須磨離宮公園
- 広島県福山市緑町公園ばら花壇
- 大阪府茨木市若菜公園バラ園
- 群馬県前橋市敷島公園バラ園
- 静岡県富士市中央公園バラ園
- 長野県中野市一本木公園
- 福岡県糟屋郡粕屋町蟹与丁公園バラ園

平和事業の歴史

記念行事 次のような記念行事を行ってきました。

- 都市宣言10周年記念講演会—H 6. 5.28 アグネス・チャン「みんな地球に生きる人」
- 戦後50周年記念平和音楽祭—H 7. 7.29 合唱連盟、二期会グループ、中高生・全員合唱
- 平和の響き音楽祭と平和の文化国際年2006—H12.12.17 国立音楽大学プラスオルケスター、市民合唱団
- 都市宣言20周年記念公演—H16.12.16 市民が語る戦争体験談「伝えていきたい戦争の記憶」
NPO法人：地球のステージ「世界の平和を考える」

ピースバラ平和大使 世界で活躍するお二人に、平成7年度から平成11年度にお願いしました。アグネス・チャンさんと増田元一郎さんに、日々の活動のなかで市の取組みを紹介していただきました。

あやせ平和の香り「アヤセローズコロン」 平成8年度から平成16年度に配布しました。平和の花「ピースバラ」の香りをコロンにしました。優しく豊かで情熱的な香りです。

綾瀬市核兵器廃絶平和都市宣言

核兵器を廃絶し、世界恒久平和を実現することは、世界唯一の核被爆国日本の全国民共通の願いである。

しかしながら、地球上では今なお核兵器の増強が進められており、世界の平和と人類の生存に深刻な脅威を与えている。

綾瀬市は、国是である非核三原則の順守と、すべての核兵器の廃絶を希求し、恒久的な世界平和を願い、核兵器廃絶平和都市となることを宣言する。

昭和59年12月19日

綾 瀬 市

Proclamation of Ayase City as a Peace City Supporting the Abolishment of Nuclear Weapons

The abolishment of nuclear weapons and the realization of lasting peace is the common goal of the people of Japan, the only nation to have suffered the terrifying destruction of the atomic bomb.

However, there are nations that still insist on bolstering their nuclear forces. These forces pose a serious threat to world peace and to the existence of all mankind.

Thus, Ayase City declares its support for the Three Nonnuclear Principles, which is an integral part of the Japanese constitution, and proclaims itself a Peace City for the abolishment of all nuclear weapons and everlasting peace for the citizens of the world.

December 19, 1984

Ayase City

○ 写真等一覧

番号	件名	頁
表紙	ピースノボ	／
裏表紙	クスノキ(上土欄 熊野社境内)	／
1	1932(昭和7)年頃 入營する兵士たち(上土欄 田中耕一氏蔵)	4
2	1932(昭和7)年頃 召集された兵士たち 長後駅にて(深谷 武藤耕一郎氏蔵)	4
3	1944(昭和19)年 戦場へ向かう兵士へ贈られた日の丸の寄せ書き(深谷 比留川信次郎氏蔵)	4
4	1944(昭和19)年 厚木航空基地の滑走路に並ぶ302航空隊の隊列(東京都世田谷区 田中耕一氏蔵)	4
5	蟹ヶ谷の防空壕(吉岡道徳蔵) (神奈川県教育委員会蔵)	5
6	1943(昭和18)年 防空ズキンとモンペ姿で防空演習に参加する(寺尾 近藤亘氏蔵)	5
7	1940(昭和15)年 小学校高等科の修身教科書(大和市 小村和夫氏蔵)	5
8	1944(昭和19)年 横須賀市から綾瀬村へ疎開した陸防国民学校の子供たち 蓮光寺にて(上土欄、蓮光寺蔵)	5
9	1945(昭和20)年8月30日 厚木基地に降り立った連合国軍最高司令官ダグラス・マッカーサー (マッカーサー記念館蔵/写真提供 茅ヶ崎市文化推進課)	5
10	厚木航空基地とその周辺 1946(昭和21)年末撮影 (国土地理院蔵/写真提供 日本地図センター)	6
11	1941(昭和16)年 体操の授業 綾瀬村国民学校校庭にて(綾瀬小学校蔵)	11
12	1945(昭和20)年7月に釜川に落とされた米軍の250キロ爆弾の処理風景 1973(昭和48)年広瀬撮影 右は発見された信管	21
13	1945(昭和20)年 鶴見工場に動員された旧横浜女子挺身隊(小淵 東原タカ氏蔵)	29
14	忠魂碑(深谷博社蔵)	37
15	1945(昭和20)年8月 反乱ののぼりを掲げた厚木航空隊の旗(東京都世田谷区 田中耕一氏蔵)	45
16	2004(平成16)年12月18日核兵器廃絶平和年宣言20周年記念公演	72
17	同上	75
	作詞(寺尾 佐藤好明氏)	／

○ 参考文献

- 綾瀬市秘書課 2004 「綾瀬市史10別編ダイジェスト写真で見えるあやせ」
 綾瀬市基地対策課 2003 「綾瀬市と厚木基地」
 みのり会文集実行委員会 2003 「私達の戦争体験」
 藤沢市教育委員会博物館建設準備担当 2000 「市民が語る十五年戦争」
 大和市平和都市推進事業実行委員会 1996 「記憶～大和市戦争体験記集～」

編集にあたって

戦争体験記は、平成16年8月から10月にかけて応募いただいた原稿を元に作成していますが、その中には遺稿や過去に発表された原稿も含まれています。

なお、執筆者の体験・記憶を尊重する立場から、原文を忠実に掲載しましたが、難解な語句や表現は、意味の変わらない範囲で書き換えました。

本書の刊行までには、執筆者を始め、多くの方々のご協力をいただきました。この場をお借りいたしまして、心よりお礼申し上げます。

伝えていきたい戦争の記憶 ～市民が語る戦争体験記集～

2005年8月30日

編集・発行 綾瀬市企画部企画課企画政策担当
 〒252-1192 綾瀬市早川550 TEL 0467-77-1111
 印刷 朝日オフセット印刷株式会社